

CASBEE-建築(新築)2016年版
プロジェクト(仮称)新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質								2.8
Q1-1 室内環境					0.30			2.4
1 音環境				3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:ロックウール化粧吸音板		4.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境				1.6	0.35	-	-	1.6
2.1 室温制御				2.2	0.50	-	-	-
1 室温				3.0	0.38	-	-	-
2 外皮性能				3.0	0.25	-	-	-
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				2.8	0.25	-	-	2.8
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	-
1 昼光率				3.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口				-	-	-	-	-
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-	-
3.3 照度				2.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				2.5	0.25	-	-	2.6
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質				3.0	1.00	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-
1 換気量				3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御				1.0	0.50	-	-	-
Q2 機能性と快適性					0.50			3.5
1 機能性				3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性		21.42㎡/人		5.0	0.33	-	-	-
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.33	-	-	-
3 パリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	-
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観		2.8m		4.0	0.33	-	-	-
2 リフレッシュスペース		休憩室:14.37%, 自販機置場あり		5.0	0.33	-	-	-
3 内装計画				3.0	0.33	-	-	-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		取組のとおり		4.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				4.0	0.30	-	-	4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				5.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.5		5.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能		建物全体を基礎免震		5.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				3.4	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		個別熱源を採用し、非常時も系統別に選択して運転可能。		4.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		配管支持は耐震Aクラスとする。		4.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	-

3 対応性・更新性			3.3	0.30		-	3.3
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30		-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		事務室:5000N/m ² ✓	5.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.4	0.40		-	
1 空調配管の更新性			1.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			1.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		主要設備機器の更新に対応した仮設スペースを確保。	4.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 敷外環境(敷地内)			2.5	0.40		-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー			3.9	0.40		-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの効率化		[BEI][BEIm] = 0.71 / 電算室・電気計室は省エネ計算対象外	3.9	0.63		-	3.9
4 効率的運用			2.0	0.25		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	-
4.1 モニタリング			-	-		-	-
4.2 運用管理体制			-	-		-	-
LR2 資源(マテリアル)			3.2	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材(FS, KT, FT)	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.5	0.20		-	2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.70		-	
1 消火剤		不活性ガス(窒素)消火剤の採用	4.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	0.33		-	
3 冷媒			2.0	0.33		-	
LR3 敷外環境			3.5	0.30		-	3.0
1 地球温暖化への配慮		インバーターエアコン、LED照明器具等の採用によりBEI値を低減。	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40		-	
1 風害の抑制			2.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	